

多文化共生の進む町～磯子～

1927年に誕生した磯子区は、2027年に区制100周年を迎えます。

約100年の中で、金沢区との分離・独立や区役所の移転など、様々な出来事がありました。その長い歴史の1ページとして、令和5年2月6日に、「いそご多文化共生ラウンジ」がオープンしました。

皆さんは「いそご多文化共生ラウンジ」をご存知でしょうか？

いそご多文化共生ラウンジは、市内で12番目となる、国際交流ラウンジです。磯子区役所の隣の浜田ビル3階を拠点に、「多文化共生を通して、誰もが地域で安心して力を発揮できる磯子」を目指して活動しています。



多文化共生ラウンジのマーク

多文化共生とは、「国籍などの異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていく」ことです。

令和5年3月時点で、磯子区の外国人人口は5千人を超え、全人口に占める割合¹は約3.35%となりました。学校の1クラスに1人、外国人がいるイメージになります。

現在、磯子区でも、他の多くの市区町村と同様に、少子高齢化に伴う人口減少が進んでおり、全体の児童数は減少傾向にありますが、外国人児童・生徒数は増えています。(右表参照)

このことから、今後、人口に占める外国人の方の割合はさらに高まり、地域において果たす役割も大きくなることが予想されます。

相手のことを理解するだけでなく、自分たちのことも相手に理解してもらい、国籍や文化等に関わらず、地域に住む人々が社会を作っていくことこそ「**多文化共生**」です。

「いそご多文化共生ラウンジ」は、外国人の方のためだけの施設ではなく、日本人の方も利用することができます。異なる文化への理解を深め、お互いを尊重するためにも、ぜひ一度「いそご多文化共生ラウンジ」へ訪れてみてはいかがでしょうか？

区別市立小中学校の外国人児童・生徒数
(平成29年から令和4年の増加数)

区名	増加数	順位	区名	増加数	順位
鶴見区	242	1	金沢区	41	11
神奈川区	111	5	港北区	56	8
西区	139	4	緑区	36	14
中区	49	9	青葉区	20	16
南区	218	2	都筑区	33	15
港南区	48	10	戸塚区	74	7
磯子区	175	3	栄区	10	17
			泉区	-80	18
			瀬谷区	37	13

出典：市立学校現況(各年5月1日現在)



グリーティングカード作成の様子
(撮影：いそご多文化共生ラウンジ)

i 総務省のHPから引用
<https://www.soumu.go.jp/kokusai/index.html>
ii 令和5年3月末時点の登録人口を基に算出。

【お問合せ】 磯子区総務課
電話 750-2316 FAX 750-2530